

## 平成28年度 福岡教育大学免許法認定講習 シラバス

授業科目名	中等英語科指導法		
担当教員名	森 千鶴		
単位数	2	授業形態	講義
免許法上の科目区分	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目（各教科の指導法））		
授業の目標・概要	<p>中学校・高等学校学習指導要領における英語科の指導目標・学習内容を理解するとともに、英語科の教育法及びその理論的背景に関する基礎知識、学習指導計画や学習指導案作成等の基礎技能を習得する。また、小学校「外国語活動」の原理を踏まえたうえで、中学校・高等学校の「英語科」学習指導案を立案し、書くことができる。</p>		
学習指導要領との関連性	<p>中学校および高等学校の学習指導要領には、ともに「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を重視して授業を行うこと、またその際、英語の4技能（聞く、読む、話す、書く）をバランスよく統合して活動を策定することが強調されている。この点を踏まえて、講義を行う。</p>		
授業で身につけるべき資質能力	<p>小学校「外国語活動」の知識・経験を踏まえたうえで、中学校・高等学校の英語教育の専門的な知識を持ち、それを実際の授業で生かして運用できる基礎的な実践力を身につけること。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 日本の英語教育において、目指すべき「英語コミュニケーション能力」          第 2 回 言語習得論における子どもと大人の違い、外国語教育の意義および小学校への英語教育導入の経緯          第 3 回 基本的な外国語教授法          第 4 回 「外国語活動」 レッスン・プランの立案          第 5 回 「外国語活動」 演習          第 6 回 小学校「外国語活動」と中学校「英語科」の連携          第 7 回 中学校・高等学校「学習指導要領」の概要、および教授原理（4技能統合と評価）          第 8 回 中学校・高等学校の文法指導のあり方とコミュニケーション活動          第 9 回 中学校「英語科」 レッスン・プランの立案          第 10 回 中学校「英語科」 演習          第 11 回 高等学校「コミュニケーション英語 I」 レッスン・プランの立案          第 12 回 高等学校「コミュニケーション英語 I」 演習          第 13 回 ティーム・ティーチングの技法（1）          第 14 回 ティーム・ティーチングの技法（2）          第 15 回 日本の英語教育における現代的課題（小・中・高連携）          試験</p>		
教科書	三浦省五・深澤清治（編著）『新しい学びを拓く 英語科授業の理論と実践』ミネルヴァ書房 ISBN：978-4623053025		
参考図書			
成績評価	<p>試験          授業時間数の5分の4以上の出席がなければ、成績評価の対象となりません。</p>		
授業時間外の学習について	授業時間外で180分の学習を課する。		
関連 HP			
備考			